

Weekly コラム

令和 5 年 1 月 24 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

デジャヴのメカニズム

「この場所、前にも来たことある気がする。」
「この状況、前にも同じ体験をした気がする。」
初めてであるにも関わらず、このように感じたことはございませんか？

このような現象を「デジャヴ」と呼び、フランス語で「既に見たことがある」という意味の“Déjà vu”が語源となっています。

フランスの心理学者エミール・ブワラックがシカゴ大学在学中に執筆した「超心理学の将来」(L'Avenir des sciences psychiques, 1917 年)によって提唱されました。現代では多くの方が認知しているデジャヴという現象ですが、昔はてんかん患者などの記憶異常によるものであるという認識が強かったため、認知心理学的研究が盛んに行われるようになったのは 20 世紀とつい最近のことです。本稿では、この不思議な体験「デジャヴ」の、現在までで分かっている発生原因のひとつをお伝えいたします。

デジャヴが発生する原因のひとつは、脳が記憶を細分化して保存し、記憶とエピソードをうまく結びつけることが出来ないためであるといわれています。例えば、「A 子と B 子が/暑い夏の日/木の下で/コーヒーを/飲みながら/談笑していた。」というエピソードと、「A 子と C 男が/温かい春の日/木の下で/ジュースを/手に持ったまま/真剣な話をしていた。」という異なるエピソードがあるとします。

これらの記憶は「 / 」部分で細分化されて脳に保存されます。すると「A 子と C 男が/暑

い夏の日/に/コーヒーを/持ったまま/談笑している。」というこれまでと異なる場面に遭遇した際に、脳が細分化した別のエピソードの記憶を結びつけてしまい、デジャヴが引き起こされます。そのため、私たちはテレビや夢で見た光景などと一部同じ経験をした際に、デジャヴを感じてしまうことがあるようです。

デジャヴが起きた際には何の記憶が結びついてデジャヴを感じているのかは自覚できませんが、それもそのはずで、デジャヴを感じているその光景は、あらゆるエピソードの細分化された記憶を組み合わせたエピソードを、脳が作り出し、そのエピソードと同じ光景であると認識しているため、実際に同じ経験はしていないのです。

デジャヴを感じている際は、何の記憶と結びついてるか分からずモヤモヤするものですが、今回メカニズムが分かったことで、これからはその感覚を楽しんでみてはいかがでしょうか？



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。